

第5回 新城地域協議会 会議録（要約）

日 時	平成25年8月19日（月） 午後7時 ～ 午後8時30分
場 所	旧新城市民体育館1階 第1会議室
出席者	委員20名（欠席者1名） 事務局 4名
傍聴人数	2名
次第	1. 開会 2. 議事 （1）地域自治区予算について
<p>1. 開会 本日の会議成立の報告及び会議録署名委員の指名。</p> <p>2. 議事 （1）地域自治区予算について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検討に先立ち、事務局より地域自治区予算事業案についての説明を行った。             <ul style="list-style-type: none"> <li>①地域自治区予算候補事業の概要</li> <li>②地域自治区予算事業案について</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【平成26年度新城地域自治区予算事業計画案の概要】</b></p> <p>地域協議会意見、行政区、小中学校、こども園からの聞き取り調査、提案等により18事業が挙げられた。実現可能性を踏まえ、事務局と担当各課で調整を図り、事業を実施した場合の事業費等を次のとおり示した。</p> <p>全12事業 予算総額7,300千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○新城小学校「ぎょぎょランド」整備事業 予算額：1,065千円 新城小学校内「ぎょぎょランド」の水循環のための井戸整備及び水質検査。</li> <li>○新城中学校共育推進事業 予算額：150千円 生徒と地域住民が協働で、地域の危険箇所を周知するための看板設置。</li> <li>○新城こども園園庭樹木伐採事業 予算額：320千円 毛虫等の発生等管理面で苦慮している園庭の樹木伐採。</li> <li>○中央こども園整備運営事業 予算額127千円 園運営に必要な音響設備の更新。</li> <li>○城北こども園整備運営事業 予算額475千円 園庭の日よけ対策、3歳未満児童の遊具整備。</li> <li>○新城地域自治区大茶話会開催事業 予算額330千円 自治区内の幅広い世代からの意見の抽出を行い、今後の地域課題解決や地域活性化策の検討に活用。</li> </ul>	

- 地域を担う人材育成事業 予算額 934 千円  
 新城地域自治区の課題解決や活性化のため、様々な分野の先進地視察や交流を行い、地域のキーマンとなる人材の育成を図る。  
 平成 26 年度テーマ：自主防災活動  
 各地区自主防災会等メンバーを南三陸町へ派遣し、被災地の状況や避難所生活など現地での自主防災活動研修及び南三陸町住民を講師とした講演会・交流会を行い、区民に対する防災意識の高揚を図る。
  - 地域安全灯設置費補助事業 予算額 250 千円  
 地域安全灯設置費補助事業の上乗せ補助制度により、地域安全対策を推進。
  - 交通安全推進事業 予算額 359 千円  
 各地区交通立ち番の使用物品の更新（交通安全旗、ベスト、帽子等）
  - 自主防災会防災資機材等整備事業 予算額 3,164 千円  
 各自主防災会が必要と考える防災資機材等を整備（貸与）
  - こども園防災備蓄品等整備事業 予算額 39 千円  
 3 歳未満児童の防災備蓄品整備
  - 新城小学校防災資機材整備事業 予算額 87 千円  
 小学校体育館内防災倉庫への資機材整備（簡易トイレ等）
- <主な意見等>

委員	学校関係、こども園関係については、本来それぞれの担当課がしっかりと予算をとってやるべきものではないかと思いますが、細かなことなので、自治区予算でやってもらえれば良いというような考えが担当課にあるのではないかと。
事務局	市が事業計画を考える場合、市全体のことを考え、計画的に実施しています。対象範囲が小さければ、予算化が難しいというのが現実ですが、新城地域自治区という観点で捉えますと、自治区内の独自の取り組みと考えることもできると思います。また、子どもの安全上の課題などは、担当課が当然やるべきという考え方もありますが、今回は、事務局として調査し、現場から挙げられた課題を事業案としています。
委員 事務局	大茶話会と市民まちづくり集会と関係がありますか。 この事業は、新城地域自治区について話し合う場です。今後のまちづくりの考え方やアイデアなど地域協議会で検討していただく議題となるような良い意見を吸い上げることができればと思います。
委員 事務局	新城市と南三陸町との関係があるのですか。 東日本大震災以後、現在も職員を南三陸町に派遣して業務の応援をしています。また、派遣された職員を中心に職場の仲間と休日を利用したボランティア活動や新城での東北物産展開催による売上金の送付、最近では新城中学校の生徒と仮設住宅に住む方々との文通

<p>委員</p> <p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>の取り組みが始まっています。こうした取り組みによる市民の交流をさらに深めることも大切であるということもあり、今回の事業案には南三陸町を選定しております。</p> <p>新城中学校の共育事業ですが、地域住民との協働とありますが、看板の製作から設置まで協働で行うということですか。10か所はあるのではないかと思いますので、15万円では少ないのではないかと思います。せっかく良いことをやってもすぐにだめになってしまうようではいけませんので、看板の材料についてのしっかり練っていただきたいと思います。</p> <p>南三陸町への研修や講師の方を呼んで講演会を行うのは、非常に良いことだと思いますが、こうした事業により防災の知識を学んだ後、自主防災会の備品を考えた方が、今まで気づかなかったことや本当に必要なものがわかり、より充実すると思います。その辺りの順番であるとか備品の内容を変更するということが可能であるか教えてください。</p> <p>早い段階で研修等を行い、平成26年度の防災訓練にその成果を活かし、その結果により各防災会で必要となる備品を揃えるということは、備品発注のタイミングの話ですので、予算の枠内であれば変更も可能です。ただ、決まっていないことに予算をつけることはできませんので、今の段階で必要と思われる備品を決めて進めていくことになります。</p>
<p>○採決</p> <p>実現可能性という観点で整理した事業計画案について、説明と質疑応答により議論を深めたが、この辺りを落としどころとし、このような事業案で区民のみなさんにご意見をいただくということで、回覧文書を作成し進めてよろしいか。</p> <p><b>【異議なし】</b></p> <p>委員からの異議なしにより、検討した事業計画案を8月30日に回覧し、区民の皆さんにご意見をうかがうこととなった。</p> <p>○防災資機材・備蓄品について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災資機材は、市からの貸与という位置づけとし、備蓄品については自主防災会活動補助金を利用いただき、各自主防災会で整備する。</li> <li>・本日の資料を参考に9月10日の地域協議会までに各区で必要備品をまとめ、事務局に報告する。</li> </ul>	

### ○交通安全物品について

現在は、行政区ごとにそれぞれ使用していると思いますが、子供たちは行政区をまたいで通学してきますので、立ち番が装備するものを統一した方が子供たちにわかりやすいのではないかという意見について、新城地域自治区でベスト、帽子、旗などを統一するかどうかの意見を9月10日の協議会で調査票により回答していただく。

### 【新城地域自治区予算事業計画作成の流れ】

区民のみなさんからの意見募集を8月30日から9月17日までの期間とし、各委員は次回9月10日の地域協議会で事務局に報告する。

いただいた意見を踏まえ事務局が調整を行い、検討資料を作成する。

9月24日の地域協議会で新城地域自治区予算事業計画として決定する。

会長より

今日議論いただいたことは、本来は行政がやるべきことで、担当各課が要望どおり全てやっていたら、このような協議会は必要ないと思います。しかし、なぜ、地域協議会が発足したのかということを考えてときに、我々地域協議会にできることは、本来市の予算でやるべきことであっても、自分の地区については地域協議会が面倒を見ますか、つなぎでも良いから予算を使って有意義にしたらどうか、そういう部分があるのだと思います。そこが地域協議会の意義であると思います。我々は素人ですので、わからない部分もたくさんあると思いますが、みなさんで議論をしながら、教えながら、教えられながらやっていけば良いと思っています。もう一つ、大茶話会の開催という事業がありますが、非常に特徴的であると思います。この新城地域自治区の茶話会で色々な話が出て、区民の共通する課題などを洗い出してくれるような会になりますと、それは来年度以降の地域協議会にとっても非常に意義のある事業となるのではないかと考えています。将来的に5年、10年を見据えて、地域協議会について考えてみると、やはりこういった事業を作り上げていかないと、ものが欲しいというような予算の使い方になってしまうと思います。

【終了】